

— 平成6・7・8年度 —

沖縄県教育委員会・竹富町教育委員会指定

体力づくり推進校発表会

(最終年次)

公開授業指導案

3学年【鉄棒あそび】

6学年【跳び箱運動】

竹富町立上原小学校

所在地：沖縄県竹富町字上原383

Tel: 09808-5-6259

体力づくり推進校（最終年次）

研 究 発 表 会

日 程

13:30 13:45 14:30 14:45 16:00

4+8+1+5+6+3+2
4+9+1+5+6+3+2

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 受 付 | 公 開 授 業 | 休 憩 | 全 体 会 |
| 校内参観 | 3年（鉄棒運動） | | （体育館） |
| | 6年（とび箱運動） | | 研究発表会 |

全体会（研究発表）

全体司会 与世平 進

1. 開会のことば 教 頭 天 願 敏 男
2. あいさつ
 - ・沖縄県教育庁八重山教育事務所所長 所 長 慶田盛 安 三
 - ・沖縄県竹富町教育委員会 教 育 長 登野原 武
3. 研究会
 - 司 会 新 城 剛
 - (1) 研究発表
 - ・研究の概要及び指導研究部 研究主任 漢 那 憲 吉
 - ・調査・研究部 本校教諭 後 藤 恵美子
 - ・学習環境部 本校教諭 池 村 久 美
 - (2) 質疑応答並びに討議
 - (3) 講評及び指導助言
 - ・沖縄県教育庁八重山教育事務所 指導主事 前上里 徹
4. 学校長あいさつ 校 長 喜 納 和 善
5. 閉会のことば 教 頭 天 願 敏 男

体育科学習指導案

平成 8年11月18日(月)
上原小学校 6年 1組
男子10名 女子7名 計17名
指導者 座間味 靖

1. 単元名 とび箱運動

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

いまできるとび越し方でいろいろな高さや向きのとび箱に挑戦したり、新しいとび越し方に挑戦したりして、克服することが楽しい運動である。

(2) 子供から見た特性

- ・とび越せたときうれしい。
- ・新しいとび方ができたときうれしい。
- ・高度なとび方に挑戦してみたい。
- ・けがをしないか心配。
- ・失敗したら恥ずかしい。

3. とび箱運動に関する基本的な考え方

男女とも明るく活動的な子供達である。休み時間になると、ほとんどの子は体育館でバスケットボールや布ボールを使ってのサッカーを楽しんでいる。とび箱運動については、アンケート調査から解るとおり、ボール運動ほど好きというわけではないが、結構楽しいと思っている子が多い。

とび箱運動は、苦手な児童にとっては高さへの恐怖、とび方の変化によりためらいを抱き積極的に活動できない。しかし、得意な児童は新しいとび方やダイナミックなとび方に挑戦しどんどん技能が高まっていく。つまり、技能の面で個人差の大きい運動である。

そこで、めあての持たせ方や場の工夫によって、どの子も主体的に学習に取り組めるようにしたい。また、みんなでアドバイスしたり補助したり安全に気をつけながら、子供達が安心してとび箱運動の楽しさを味わえるように授業を進めていきたい。

4. 学習のねらいと道筋

(1) 学習のねらい

できるとび方で、いろいろなとび箱をとび越したり、新しいとび方に挑戦したりして楽しむ。

(2) 学習の道筋

毎時間「めあて1」を十分に行なってから「めあて2」へ進む。「めあて2」のできるようになったとび方は、次の時間から「めあて1」に入れて行う。

めあて1 得意なとび方やできるとび方で、いろいろな向きや高さのとび箱を、大きな動作でとび越す。

めあて2 できそうなとび方や上手になりたいとび方に、とびやすい場所やとび箱で挑戦する。

5. 時間配分

| | | | | | | | | | | | |
|----|---------|------------------|------|---|---|---|---|---|---|----|-------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 10 | はじめ | 技 の 確 認 | めあて1 | | | | | | | | 発 表 会 |
| 20 | | | なか | | | | | | | | |
| 30 | | | めあて2 | | | | | | | | |
| 40 | 自 己 評 価 | | | | | | | | | | |

6. 施設・用具

- ・とび箱 6台
- ・マット 7枚
- ・踏切板 6枚
- ・安全マット 2枚
- ・ゴム 1本
- ・学習カード

これらを組み合わせて場を工夫する。

7. 学習の指導と展開

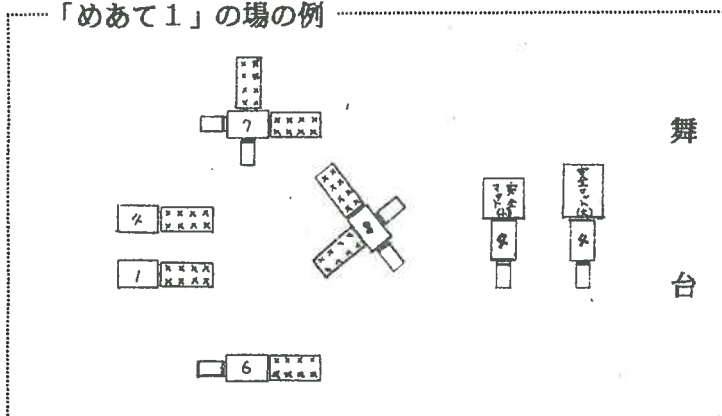
| | 学習のねらいと活動 | 指 導 |
|-------------------------|--|---|
| はじめ 45分 | <ol style="list-style-type: none"> 1 学習のねらいを理解し、学習の進め方について見通しを持つ。 2 学習のきまりや安全について知る。 3 学習カード、チェックカードの使い方を知る。 4 グループと役割分担をする。 5 用具の準備、あと片付けの仕方について知る。 6 学習のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを持った学習ができるように、学習カード等の使い方を知らせる。 ・学習の進め方を知らせる。 |
| 技 の 確 認 45分 | <ol style="list-style-type: none"> 1 準備運動をする。 2 活動の場をつくる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>場の例</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 3 自分が今できるとび方を、高さや向きを変えてチェックし、カードに記入する。 4 次時のめあてを決める。 5 学習のまとめをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで協力して活動の場がつけられるように指導する。 ・各自のとび方をグループで確認させ、チェックカードに記入させる。 |

1 準備運動をする。

めあて1 得意なとび方やできるとび方で、いろいろな向きや高さのとび箱を、大きな動作でとび越す。

2 グループで分担し、いろいろな高さのとび箱を設置し、「めあて1」の場づくりをする。

「めあて1」の場の例



3 各自のめあてを確認する。

めあて1の例

A君 開脚とびで、縦6～8段、横5～7段に、かかえ込みとびで、縦5～7段に挑戦する。強く踏み切り大きくとび越す。

Bさん..... 台上前転で縦4～6段に、下向き横とびで、横3～5段に挑戦する大きく高くとび越す。

4 グループで教え合ったり見合ったりして、各自のめあてに挑戦する。

- ・やさしいとび方から始め、しだいに得意なもので、できるものに進む。
- ・低い、とびやすい向きのとび箱から始め、3～4回とんだら、高い段や違う向きのとび箱に挑戦する。
- ・慣れてきたら、遠くへとんだり、高くとんだり、大きな動作でとぶようにする。
- ・順番を守り、安全を確認し合ったりして、仲良く行う。

めあて2 できそうなとび方や上手になりたいとび方に、とびやすい場やとび箱で挑戦する。

5 みんなで協力して、とびやすい場やとび箱を設置する。

・みんなで学習のめあてを確認する。

・安全確認の視点を持たせながら、みんなで協力して場づくりができるように必要に応じて助言する。

・次のことを観察し、必要に応じて助言する。

①活動の順序を理解し、めあてを持って学習しているか。

②同じとび箱の人と協力して学習しているか。

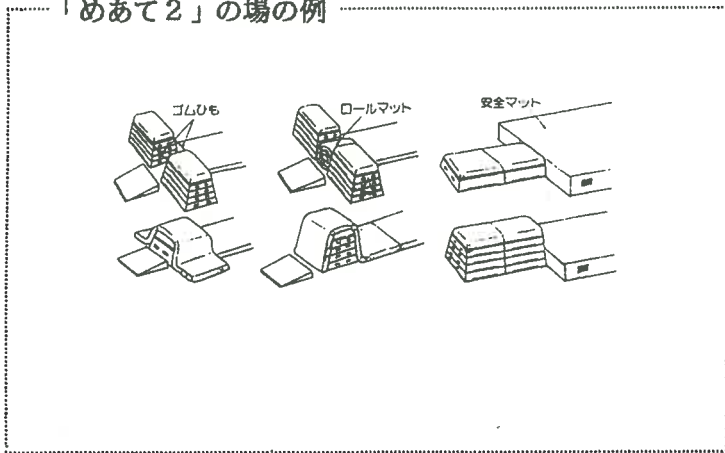
③安全に気をつけてとんでいるか。

・子供達が十分に「めあて1」の活動を行なったと判断したところで「めあて2」へ移る指導をする。

・工夫した場の設置をするように助言する。

な

「めあて2」の場の例



か

6 各自のめあてを確認する。

めあて2の例

- A君 ----- やさしい練習の場で、台上前転と下向き横とびに挑戦する。できるようになったら、4～5段のとび箱で挑戦する。
- Bさん ----- 安全マットを使って、前方倒立回転とびに挑戦する。できるようになったら、4～5段のとび箱で挑戦する。

45

X

7 各自、自分のめあてに挑戦する。

- ・とびやすい場で挑戦してできるようになったら、やさしいとび箱で挑戦する。
- ・同じ練習の場や同じとび箱を使う人と、見合ったり教え合ったりして、協力して行う。

8

発表会とまとめ

1 発表会をする。

- ・できるようになったとび方を発表する。

2 学習のまとめをする。

学習カードやチェックカードの記録をもとにまとめる。

- ・楽しかったこと。
- ・力にあつためあてをたて、場が選べたか。
- ・学習カードやチェックカードが活用できたか。
- ・みんなと協力できたか。

45分

- ・安全に設置されたかを確認する。

- ・自分の力に合った、無理のないとび方を選び、それに適したとび箱で挑戦しているかを観察し、必要に応じて助言する。
- ・特定のとび箱に集中しているときには、同じとび箱を新しく設置させる。
- ・順番を守り、安全を確かめながら行うように指導する。

- ・友達のとび方を見て、良いところを見つけさせる。
- ・これまでの学習の記録をもとに反省をさせる。

8. 評価

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|----|---|-----------|---|---|---|-----------|---|---|---|----|-----------|
| 10 | | 診断的 評価 | | | | 形成的 評価 | | | | | 総括的 評価 |
| 20 | | | | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | | | | |
| 40 | | | | | | | | | | | |

評価の観点

○診断的評価

学習に対する意欲や、協力性、簡単な技能等を把握する。

○形成的評価

学習カード、チェックカード等の観察を通して評価する。

○総括的評価

①「関心・意欲・態度」

- ・めあて達成に向けて、全力を尽くしたか。
- ・楽しく学習ができたか。
- ・友だちと協力して、仲良く学習できたか。
- ・協力してとび箱を設置したり、片付けたりできたか。

②「思考・判断」

- ・自分にあつためあてがもてたか。
- ・めあて達成に向けて、工夫しながら学習できたか。

③「技能」

- ・今までできなかったとび方ができたか。
- ・今までできたとび方が、より上手にできたか。

9. 本時の学習と指導の展開 (5/11時)

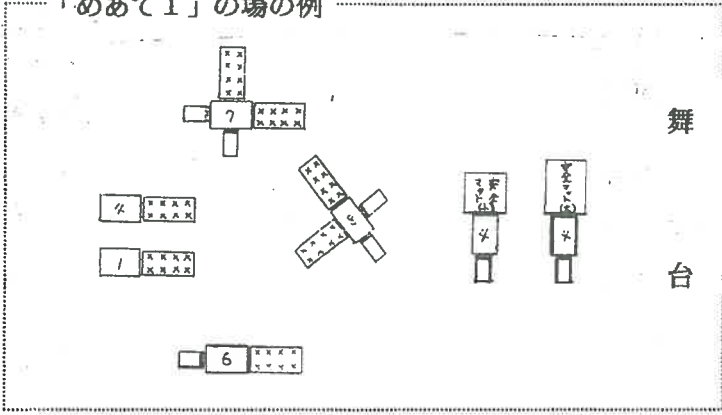
(1) 本時のねらい

できるとび方で、いろいろなとび箱をとび越したり、新しいとび方に挑戦したりして楽しむ。

(2) 施設・用具

- ・学習カード、チェックカード ・踏切板6台 ・安全マット2枚
- ・マット7枚 ・跳び箱6台 ・ゴム1本

(3) 展開

| | 学 習 活 動 | 指 導 |
|------------------------|--|--|
| は じ め 10 分 | <p>1 準備運動をする。</p> <p>2 学習のきまりや安全に気をつける事を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・体が十分ほぐれるように気をつけさせる。 ・安全面を確認させる。 |
| な か 30 分 | <p>3 学習のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて1 得意なとび方やできるとび方で、いろいろな向きや高さのとび箱を、大きな動作でとび越す。</p> </div> <p>4 グループで分担し、いろいろな高さのとび箱を設置し、「めあて1」の場づくりをする。</p> <p>「めあて1」の場の例</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで学習のめあてを確認する。 ・安全確認の視点を持たせながら、みんなで協力して場づくりができるように必要に応じて助言する。 |
| 30 分 | <p>5 各自のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて1の例</p> <p>A君 ----- 開脚とびで、縦5～7段、横4～6段に、かかえ込みとびで、縦4～6段に挑戦する。強く踏み切り大きくとび越す。</p> <p>Bさん ----- 台上前転で、縦6～8段に、頭はねとびで、縦5～7段に挑戦する。高く大きくとび越す。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・次のことを観察し、必要に応じて助言する。 ①活動の順序を理解し、めあてを持って学習しているか。 ②同じとび箱の人と協力して学習しているか。 ③安全に気をつけてとんでいるか。 |

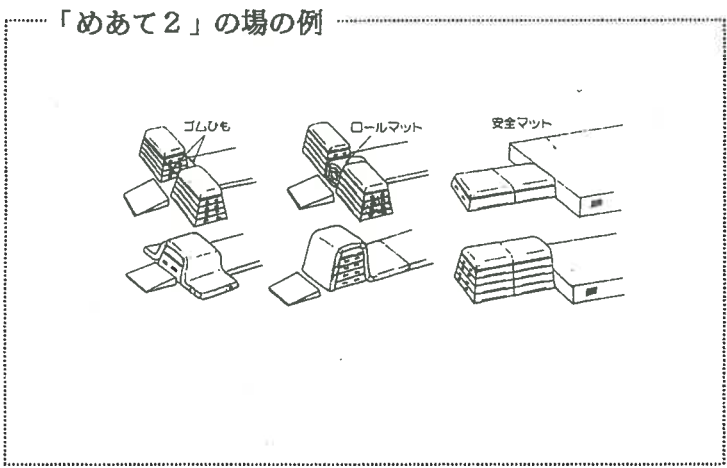
な
か
30
分

6 グループで教え合ったり見合ったりして、各自のめあてに挑戦する。

- ・やさしいとび方から始め、しだいに得意なもので、できるものに進む。
- ・低い、とびやすい向きのとび箱から始め、3～4回とんだら、高い段や違う向きのとび箱に挑戦する。
- ・慣れてきたら、遠くへとんだり、高くとんだり、大きな動作でとぶようにする。
- ・順番を守り、安全を確認し合ったりして、仲良く行う。

めあて2 できそうなとび方や上手になりたいとび方に、とびやすい場やとび箱で挑戦する。

7 みんなで協力して、とびやすい場やとび箱を設置する。



8 各自のめあてを確認する。

めあて2の例

A君 ----- やさしい練習の場で、かかえこみとびに挑戦する。できるようになったら、4～5段のとび箱で挑戦する。

Bさん ----- 安全マットを使って、側方倒立回転とびに挑戦する。できるようになったら、4～5段のとび箱で挑戦する。

9 各自、自分のめあてに挑戦する。

- ・とびやすい場で挑戦してできるようになったら、やさしいとび箱で挑戦する。
- ・同じ練習の場や同じとび箱を使う人と、見合ったり教え合ったりして、協力して行う。

- ・子供達が十分に「めあて1」の活動を行なったと判断したところで「めあて2」へ移る指導をする。

- ・工夫した場の設置をするように助言する。

- ・安全に設置されたかを確認する。

- ・自分の力に合った、無理のないとび方を選び、それに適したとび箱で挑戦しているかを観察し、必要に応じて助言する。

- ・特定のとび箱に集中しているときには、同じとび箱を新しく設置させる。

- ・順番を守り、安全を確かめながら行うように指導する。

| | | |
|---------------------------|--|--|
| ま と め 5 分 | <p>10 学習のまとめをする。 学習カードやチェックカードの記録をもとにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてが達成できたか。 ・安全に気をつけ、楽しく活動できたか。 ・みんなと協力できたか。 ・次時のめあてを決める。 | |
|---------------------------|--|--|

(4) 評価

①「関心・意欲・態度」

- ・めあて達成に向けて、全力を尽くしたか。
- ・楽しく学習ができたか。
- ・友だちと協力して、仲良く学習できたか。
- ・協力してとび箱を設置したり、片付けたりできたか。

②「思考・判断」

- ・自分にあつためあてがもてたか。
- ・めあて達成に向けて、工夫しながら学習できたか。

③「技能」

- ・今までできなかったとび方ができたか。
- ・今までできたとび方が、より上手にできたか。

とび箱運動学習カード

6年名 前

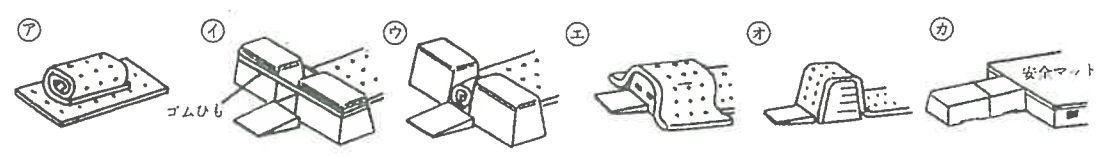
| 項目 日付 | めあてに向 かって練習 したか | | | めあては自 分の力にあ っていたか | | | めあてにあ った練習の 工夫がで きたか | | | 友だちに教 えたり励ま したり協力 しあえたか | | | 安全に気 をつけて練 習できたか | | | 友だちと協 力して準備 や片付けが できたか | | | 今まででき なかつたど き方ができ たか | | | 今日の学習 を終えてど んな気持ち か | | |
|----------|-----------------------|--------|-----------|-------------------------|---------|--------|-------------------------------|------------|--------|----------------------------------|--------|-----------|------------------------|---------|---------|---------------------------------|-----|--------|-------------------------------|------|--------|------------------------------|-------|---------|
| | 何回も練習した | だいたいした | めあてを忘れていた | ちようどよかったです | むしろかかった | やさしすぎた | 資料や先生などを見たり話をした | 先生や友達に話をした | よくわかった | よくできた | 何人かにした | ほとんどしなかった | 十分に気がつけた | 少し気がつけた | 気にしなかった | しっかりとできた | できた | できなかった | できた | もう少し | できなかった | 次が待ち遠しい | またしたい | もうしたくない |
| 1 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

《 今日 の 感 想 》

| | | | |
|---|--|----|--|
| 1 | | 7 | |
| 2 | | 8 | |
| 3 | | 9 | |
| 4 | | 10 | |
| 5 | | 11 | |
| 6 | | | |

単元のまとめと感想

できるようになったとび方

| | | | | | |
|------|--|------------------------|-----------------------|-------|-----------------|
| わざ | ①開きやくとび ⑥頭はねとび | ②かかえこみとび ⑦前方とう立回転とび | ③下向き横とび ⑧側方とう立回転とび | ④台上前転 | ⑤あおむけとび ⑨その他 |
| 練習の場 |  | | | | |

めあて1
得意なとび方やできるとび方で、いろいろな向きや高さのとび箱を、大きな動作でとび越す。

めあて2
できそうなとび方や上手になりたいとび方に、とびやすい場所やとび箱で挑戦する。

※ めあての記入らんや練習の場の記入は、上の表の番号を使って記入する。できばえは ◎ ○ △で。

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

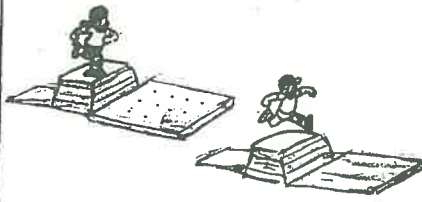
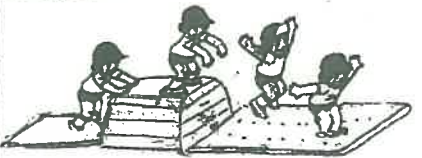
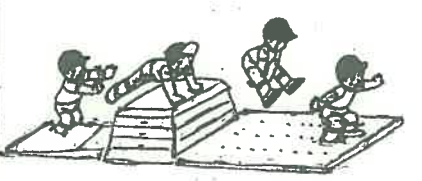
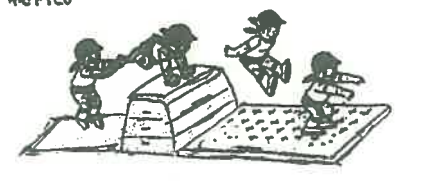


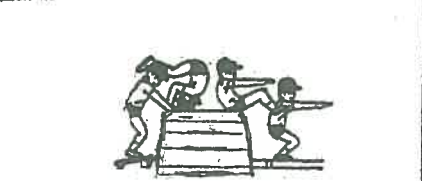
| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| めあて1 | 何段 | できばえ | めあて2 | 練習の場 | できばえ |
|------|----|------|------|------|------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

跳び箱運動 技のチェックカード

| 年 | 技の名前 | 技のできばえ | 評価 | | 技の名前 | 技のできばえ | 評価 |
|------------------|---|--------|------|--|----------|--------|----|
| 一 年 | ほめし・おぼし  | できる | 四・五年 | | かえりこび | できる | |
| | | 連続でできる | | | | 連続でできる | |
| 上手にできる | 上手にできる | | | | | | |
| もうすこし | もうすこし | | | | | | |
| 何 段 | 何 段 | | | | 何 段 | | |
| 二 年 | うでてびのり・お  | できる | 五・六年 | | 下りこび | できる | |
| | | 連続でできる | | | | 連続でできる | |
| 上手にできる | 上手にできる | | | | | | |
| もうすこし | もうすこし | | | | | | |
| 何 段 | 何 段 | | | | 何 段 | | |
| 三 年 | かきやくとび  | できる | 五・六年 | | 翻ねとび | できる | |
| | | 連続でできる | | | | 連続でできる | |
| 上手にできる | 上手にできる | | | | | | |
| もうすこし | もうすこし | | | | | | |
| 何 段 | 何 段 | | | | 何 段 | | |
| 四 年 | ひきやくとび  | できる | 五・六年 | | 前方とう立飛とび | できる | |
| | | 連続でできる | | | | 連続でできる | |
| 上手にできる | 上手にできる | | | | | | |
| もうすこし | もうすこし | | | | | | |
| 何 段 | 何 段 | | | | 何 段 | | |
| 五 年 | よとび  | できる | 五・六年 | | 前方とう立飛とび | できる | |
| | | 連続でできる | | | | 連続でできる | |
| 上手にできる | 上手にできる | | | | | | |
| もうすこし | もうすこし | | | | | | |
| 何 段 | 何 段 | | | | 何 段 | | |
| 三 ・ 四 年 | あおむしとび  | できる | | | | できる | |
| | | 連続でできる | | | | 連続でできる | |
| 上手にできる | 上手にできる | | | | | | |
| もうすこし | もうすこし | | | | | | |
| 何 段 | 何 段 | | | | 何 段 | | |
| 三 ・ 四 年 | 台上げてん  | できる | | | | できる | |
| | | 連続でできる | | | | 連続でできる | |
| 上手にできる | 上手にできる | | | | | | |
| もうすこし | もうすこし | | | | | | |
| 何 段 | 何 段 | | | | 何 段 | | |

体 育 科 学 習 指 導 案

平成8年11月18日(月)
上原小学校3年1組
男子5名 女子5名 計10名
指導者 新城 剛

1. 単元名 「てつぼうあそび」

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

鉄棒を軸にして、さまざまな回転技を楽しむ運動であり、さらに、上がる、技や下りる技を身につけて、上がる→回る→おりるを連続して楽しむ運動である。また、できない技ができるようになったとき、大きな喜びが得られる。

(2) 子どもの立場から見た特性

- ・複数の技ができると楽しい。
- ・逆上がりをしたいと考えている。
- ・上がる→回る→おりるという技の連続性に対する意識はまだ低い。
- ・ぶら下がったり回るとき手や足が痛い。(自分の体重を支えることが苦手な子がいる。)
- ・順番待ちをしたり鉄棒の取り合いをしたりするのがいや。

3. てつぼうあそびに対する基本的な考え方

事前のアンケートでは、鉄棒運動を好きだという子は10人中5人と他の領域に比べ興味関心は高いとは言えない。「(鉄棒運動をすると)手や足が痛い」という意識を持つ子も多く、回転技に恐怖心を持っている子もいる。さらに、逆上がりに関して、できない子(10名中6名)のほとんどができるようになりたいという願いを持っている。

そこで、補助具を工夫したり、できるまでの練習過程をスモールステップで示すなど、めあての具体化を図りやすい環境を整え、また、みんなが楽しく学習するための約束等も意識し、楽しく学習が進められるようにしたい。さらに、上がる→回る→おりるという技の連続性への意識を高め、1つの演技の完成という面からの楽しさも味わわせたいと考える。

4. 学習のねらいと道筋

(1) 学習のねらい・・・今できる上がり方、回り方、下り方を確かめ、技をつないだり、新しい技に挑戦したりして楽しむ。

(2) 道筋・・・毎時間、「めあて1」を十分に行ってから、「めあて2」を行う。

- ・めあて1→今できる技を続けて行ったり、ほかの技と組み合わせて行ったりする。
- ・めあて2→できそうな新しい技に挑戦する。

5. 時間配分

| | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 |
|----|---|---|---|------|---|---|---|-----|
| 10 | | 技 | | めあて1 | | | | 発表会 |
| 20 | は | の | | | | | | |
| 30 | じ | 確 | | なか | | | | |
| 40 | め | 認 | | めあて2 | | | | |
| | | | | 自己評価 | | | | まとめ |

6. 施設、用具

- ・低鉄棒(2) ・中铁棒(2) ・高鉄棒(1) ・跳び箱 ・踏切板 ・回転用補助具 ・ひざあて

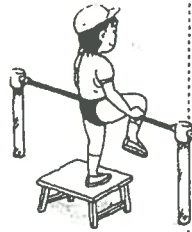
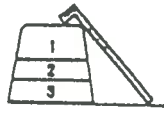
7 学習の指導と展開

| | | |
|------------------------|--|---|
| はじめ 15分 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習のねらいや道筋を理解し、学習の進め方について見通しを持つ。 2. 学習のきまりや安全について知る。 3. 学習カードを作成し、使い方を知る。 4. 見合ったり、教え合ったりして、協力しあって学習することを理解する。 5. どんな技ができるか確かめ、めあてをもつ | |
| 段階 | 学習のねらいと活動 | 指 導 |
| な か 15 × 6 | <p>・毎時間、次の「めあて1」を十分に行ってから、「めあて2」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて1. 今できる技を続けて行ったり、ほかの技と組み合わせて行ったりする。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. どんな技ができるか十分確かめる <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、チェックカードのめあてとなる技を参考にし、今どんな上がり方、回り方、おり方、ができるか自分で、または友達と見合いながら確かめる。 2. 各自が自分の力に合った「めあて1」を決める。 《はじめのめあて1の例》 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A君・・・ブランコを続けてする。腕立てとび上がりと同回りおりを上手にしたり、つないでしたりする。</p> <p>Bさん・・・逆上がりと同回りおり、前回りおりを上手にしたり、つないでしたりする。</p> </div> 3. 練習の進め方を決め、練習する。 《練習の順序の例》 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A君</p> <p>①ブランコが正しく続けられるように練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでもできるか。 ・前後にあしを大きくふることができるか。 ・何回も連続してできるか。 <p>②腕立てとび上がりと同回りおりが正しくできるか練習し、つないで行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の最もやりやすい高さを選んで練習する。 ・友達どうし見合ったり教え合ったりして学習する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて2 できそうな新しい技に挑戦する。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 挑戦したい新しい技を選び、「めあて2」にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、チェックカードを参考にして、挑戦したい新しい技（少し努力すればできそうな技）を決める。回る技を中心に選ぶ。 <p>《はじめのめあて2の例》</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A君・・・ダルマ回りに挑戦する。</p> <p>Bさん・・・腕立て後ろ回りに挑戦する。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に示されている上がり方、回り方、おりかたについての個々の技は、示範や図を用いてよく理解させるようにする。 ・めあて1の意味がよく分かり自分のできる技を的確に選んでいるかを観察し、必要に応じて助言する。 ・めあてをなかなか決められない子どもに対しては、なにができるのか、できないのかを十分確かめさせる。 ・練習の進め方を理解し、めあてにそって学習しているか観察する。 ・「めあて1」は、できる技を上手にする段階であるから、どうすれば上手になるかというめあてを正確にもたせる。例えば、回る技では、続けて回る回数を増やすことで技が上手になることなどを指導する。 ・「めあて1」が十分に行われたら「めあて2」に進むことを指導する。学び方が十分な子どもは、教師の指示なしで「めあて2」に進むことも可能である。 ・各自の進め方に合っためあてなのか、または、練習の進め方を理解しているかを観察し必要に応じて助言する。 |

2. 学習の進め方を決め練習をする。
 ・初めは補助具を使ってできるようにする。

〈補助具の例〉

飛び箱と階切板の組み合わせ 補助ベルト タイヤ 踏み台



- ・補助具なしでできるようにする。
- ・補助具なしで自分の力で1回でできるようにする。
- ・回転技では2回以上連続でき、さらに思うように止めることができるようにめあてを持って活動する。
- ・お互いに安全に気をつけ、見合ったり教え合ったりしながら学習する。

◎「めあて2」で確実にできるようになった技は、次の時間から「めあて1（すすんだめあて）」に入れて行う。

〈進んだめあて1の例〉

- A君・・・腕立てとびあがり・ダルマ回り・前回り下りを続けてする。
 Bさん・・・逆上がり・腕立て後ろ回り・後ろおりをつないでする。

〈進んだめあて2の例〉

- A君・・・ひさかけ後ろ回りに挑戦する。
 Bさん・・・ふみこしおりに挑戦する。

4. 学習カード、チェックカードに今日の学習のまとめを記録し、次時のめあてをたてる。

- ・できばえを確かめるために以下のような確かめ方の例を示し、自分たちで確かめられるようにする。

〔回り方のできばえの確かめ方の例〕

- ①補助具でできる
- ②何とかできる
- ③連続してできる
- ④組み合わせてできる。

- ・毎時間「めあて1」→「めあて2」を繰り返すが、めあて2」でできた新しい技は、次の時間から「めあて1」に入れて行うよう指導する。

発表会とまとめ15分

1. 発表会をする。
 - ・できるようになった技を組み合わせで発表する。
2. 学習のまとめをする。

学習カード、チェックカードの記録をもとにまとめる

 - ・技ができるようになったか
 - ・楽しかったこと
 - ・力にあつためあてをたて、場の工夫ができたか
 - ・学習カード、チェックカード、資料が活用できたか。
 - ・みんなと協力できたか。

- ・友達の技を見てよいところを見つけさせる。
- ・これまでの学習記録をもとに反省をさせる。

8. 評価

| | | | | | | | | |
|----|-----|-------|---|---|---|-------|---|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 10 | はじめ | 診断的評価 | | | | 形成的評価 | | 総括的評価 |
| 20 | | | | | | | | |
| 30 | | | | | | | | |
| 40 | | | | | | | | |

評価の観点

- ①めあてを持って意欲的に運動に取り組んで楽しむことができたか。 (関心・意欲・態度)
- ②友達と教え合ったり，見合ったりして，協力してできたか。 (関心・意欲・態度)
- ③順番やきまりを守ったり，場の安全を確かめたりしながらできたか。 (関心・意欲・態度)
- ④自分のちからにあっためあてを持つことができたか。 (思考・判断)
- ⑤新しい技ができるための練習の工夫ができたか。 (思考・判断)
- ⑥今できるいろいろな技を，上手にしたり，続けたりすることができたか。 (技能)
- ⑦できそうな新しい技に挑戦して，できるようになったか。 (技能)
- ⑧新しい技とできる技を組み合わせ遊べることができたか。 (技能)

9. 本時の学習と指導の展開

(1) 本時のねらい

今できる上がり方，回り方，下り方を確かめ，技をつないだり，新しい技に挑戦したりして楽しむ。

(2) 展開

| | 学習活動のねらいと活動 | 指導 |
|-----------|---|---|
| はじめ 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動をする。 ・安全に気をつける事や決まりを守ることを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体を十分にほぐさせるようにする ・安全面を確認させる。 |
| なか 35分 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>めあて1. 今できる技を続けて行ったり，ほかの技と組み合わせて行ったりする。</p> </div> <p>1. めあての確認をする。 《めあて1の例》</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>A君・・ブランコを続けてする。腕立てとび上がりとお前回りおりを上手にしたり，つないでしたりする。</p> <p>Bさん・・逆上がりと後ろ回り，前回りおりを上手にしたり，つないでしたりする。</p> </div> <p>2. めあて1に挑戦する (練習の進め方を決め，練習する)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に示されている上がり方，回り方，おりかたについての個々の技は，示範や図を用いて事前によく理解させるようにする。 ・めあて1の意味がよく分かり自分のできる技を的確に選んでいるかを観察し，必要に応じて助言する。 ・めあてをなかなか決められない子どもに対しては，なにができるのか，できないのかを十分確かめさせる。 |

《練習の順序の例》

A君

- ①ブランコが正しく続けられるように練習する。
 - ・いつでもできるか。
 - ・前後にあしを大きくふることができるか。
 - ・何回も連続してできるか。
- ②腕立てとび上がり前回りおりが正しくできるか練習し、つないで行う。
 - ・自分の最もやりやすい高さを選んで練習する。
 - ・友達どうし見合ったり教え合ったりして学習する。

めあて2

できそうな新しい技に挑戦する。

1. 挑戦したい新しい技を選び、「めあて2」にする。
 - ・教科書を参考にして、挑戦したい新しい技（少し努力すればできそうな技）を決める。回る技を中心に選ぶ。

《めあて2の例》

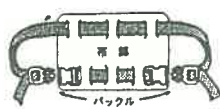
A君・・・ダルマ回りに挑戦する。

Bさん・・・腕立て後ろ回りに挑戦する。

2. 学習の進め方を決め練習をする。
 - ・初めは補助具を使ってできるようにする。

《補助具の例》

跳び箱と踏切板の組み合わせ 補助ベルト タイヤ 踏み台



- ・補助具なしでできるようにする。
- ・補助具なしで自分の力で1回でできるようにする。
- ・回転技では2回以上連続ででき、さらに思うように止めることができるようにめあてを持って活動する
- ・お互いに安全に気をつけ、見合ったり教え合ったりしながら学習する。

3. 学習カード、チェックカードに今日の学習のまとめを記録し、次時のめあてをたてる。

まとめ
5分

1. 学習のまとめをする。

学習カード、チェックカードの記録をもとにまとめる

 - ・技ができるようになったか
 - ・楽しかったこと
 - ・力にあつためあてをたて、場の工夫ができたか
 - ・学習カード、チェックカード、資料が活用できたか
 - ・みんなと協力できたか。
2. 新しくできるようになった技を発表する。

・練習の進め方を理解し、めあてにそって学習しているか観察する。

・「めあて1」は、できる技を上手にする段階であるから、どうすれば上手になるかというめあてを正確にもたせる。例えば、回る技では、続けて回る回数を増やすことで技が上手になることなどを指導する。

・「めあて1」が十分に行われたら「めあて2」に進むことを指導する。学び方が十分な子どもは、教師の指示なしで「めあて2」に進むことも可能である。

・各自の進め方に合っためあてなのか、または、練習の進め方を理解しているかを観察し必要に応じて助言する。

・できばえを確かめるために以下のような確かめ方の例を示し、自分たちで確かめられるようにする。

〔回り方のできばえの確かめ方の例〕

- ①補助具でできる
- ②何とかできる
- ③連続してできる
- ④組み合わせてできる。


てつぼう遊びカード 3年 前()

| | 上がるわざ | さがりわざ・ふりわざ | 回るわざ | おりるわざ |
|----------|--|--|--|--|
| めあてとなるわざ | ①うでたてとびあがり ②さか上がり ③せ上がり ④ひざかけ上がり ⑤けあがり | ⑥ぶらんこ ⑦おさるさん ⑧ふとんさがり ⑨つばめ ⑩ひざかけふり ⑪こうもりふり | ⑫ちきゅうまわり ⑬あしぬきまわり ⑭ひざかけ後ろ回り ⑮うでたて後ろ回り ⑯だるま回り ⑰ひざかけ前回り ⑱うでたて前回り ⑲ももかけ前回り ⑳ともえ | 21 うでたてとびおり 22 前回りおり 23 後ろとびおり 24 ふみこしおり 25 転向前おり 26 横とびこしおり 27 ふりとび |


| | めあて1 | めあて2 | 練習の工夫 |
|-----|-----------------|------|-------|
| 1 / | オリエンテーション | | |
| 2 / | チェックカードにわざのかくにん | | |
| 3 / | → → | | |
| 4 / | → → | | |
| 5 / | → → | | |
| 6 / | → → | | |
| 7 / | → → | | |
| 8 / | → → | | |

練習の工夫

①ふみだいを使って




③ベルト・ささえひも
タオルを使って




②とびばことふみきり
ばんをつかって

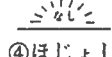
【第4段階】




【第5段階】




【第6段階】




【第1段階】



【第2段階】



【第3段階】



④ほじょしてもらって


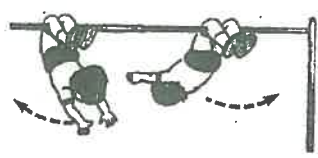
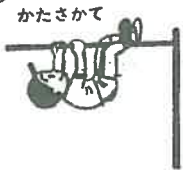
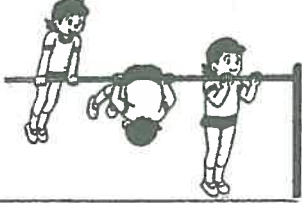

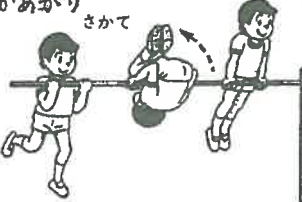

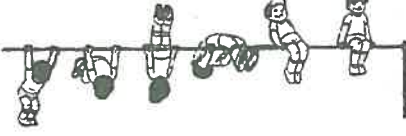




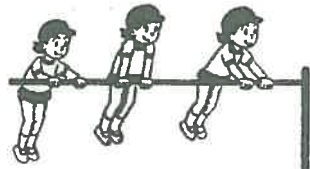

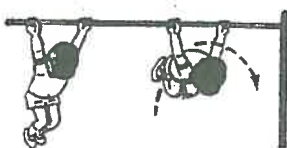

⑤そのほか

| | めあてに向かって練習したか | | めあては自分の力に合っていたか | | めあてに合った練習のくふうができたか | | 友達に教えたりはげましたりきょう力できたか | | 安全に気をつけて練習できたか | | 友達ときょう力してじゅんびやかたづけができたか | | 今までできなかったわざができたか | | 今日の学習を終えてどんな気持ちか | | | |
|-----|---------------|---------|-----------------|--------|--------------------|----------|-----------------------|--------|----------------|-------|-------------------------|------|------------------|-----|------------------|----|-------|-------|
| | 何回も練習した | だいたい忘れた | めあてをよどかした | ちゅうかした | やさしくうした | しりょうだうを見 | 先んずか | よくわかった | 何人かにした | ほとんどの | 少しも | 気にしな | しっかりできた | できた | もうすこし | 次が | またしたい | したくない |
| 1 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 / | | | | | | | | | | | | | | | | | | |





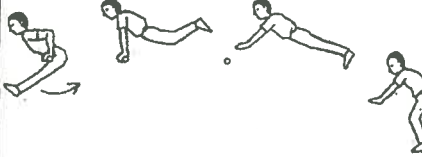



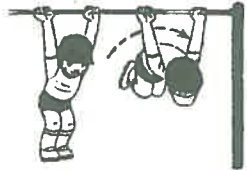
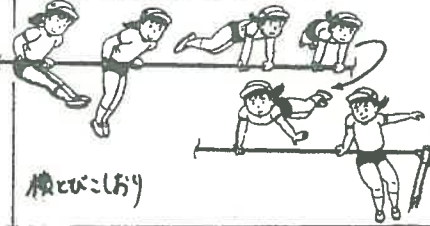
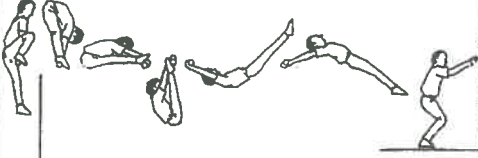

てつぼう遊びを終わっての感想

できるようになったわざ

鉄棒運動技のチェックカード

| 学年 | 技の名前 | 技のできばえ | 評価 | 学年 | 技の名前 | 技のできばえ | 評価 |
|----|--|---------------------------------|----|----|---|---------------------------------|----|
| 1 | ぶらんこ じゅんて  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 1 | こうもりふり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 1 | おさるさん かたさかて  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 1 | まえまわりおり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 1 | ちきゅうまわり こうささて  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 1 | さかあがり さかて  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 1 | ふとんさがり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 2 | せあがり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 1 | つばめさん  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 2 | ひざかけあがり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 1 | ひざかけふり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 2 | ひざかけ後ろ回り (後方ひざかけ回転)  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 1 |  (うでたて) とびあがり・とびおり | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 3 | うで立て後ろ回り (後方しじ回転)  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 1 | あしぬきまわり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 3 | だるま回り  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |

鉄棒運動技のチェックカード

| 学年 | 技の名前 | 技のできばえ | 評価 | 学年 | 技の名前 | 技のできばえ | 評価 |
|----|---|---------------------------------|----|----|--|---------------------------------|----|
| 3 | ひざかけ前回り  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 5 | 前方もちかけ回転  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 3 | うで立て前回り (前方しじ回転)  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 5 | けあがり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| | 後ろとび  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 5 | ともえ  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 3 | ふみこしおり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 5 | 転向前おり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 3 | 足ぬき前まわり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 5 | 横びこしおり  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 3 | ひこうきとび  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | 5 | ふりとび  | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | |
| 3 | | できる 連続でできる 上手にできる もう少し | | | | | |

資 料

講師 文部省体育官 島根大学教授

杉山 重利

演題「生涯スポーツを志向した体育学習」

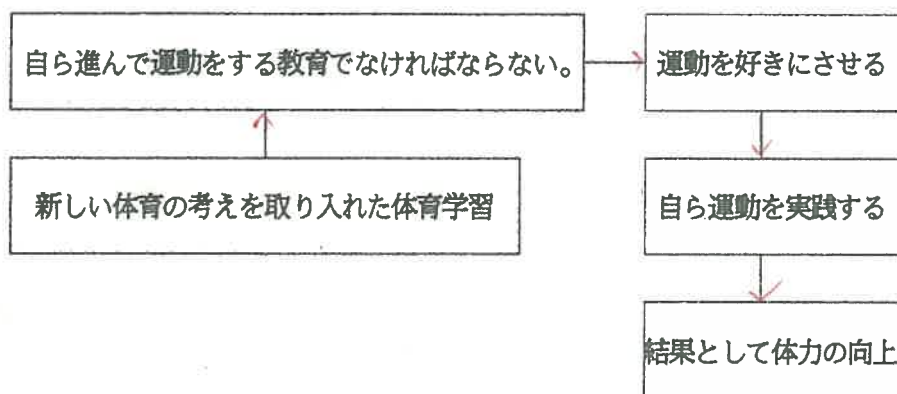
講演概要

1. 体育の目標をどう捉らえるか (何の為に体育を指導するのか)

(1) 体力の向上 (新しい体育の考え方)

体力の向上という、多く人はスポーツをすることによって成されると考えている。つまり、運動すれば体力は向上するという。この考えは子供に運動を課するという教育であり、このような考えの教育から脱皮しなければならない。

では、どうすればよいかという



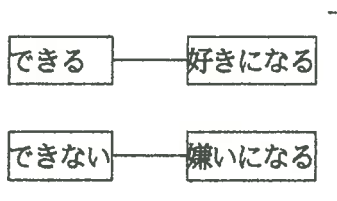
生涯体育を目指すにはスポーツを好きに

しておかなければならない。では好きにさせるにはどうすればいいかという

学校教育における器械運動の意味

大人になり社会に出て誰一人としてフリータイムに跳び箱や、鉄棒等をする人はいない。それなのになぜ学校教育でそれをするのか。という疑問はどの教師も持っている。

器械運動という領域は「できる」、「できない」がはっきりしている。



このように考えると、「鉄棒」はできた喜びが味わえる種目である。このことから、器械運動は、運動に好きにさせるのに適切な教科である。

だから、器械運動は学校教育で必要なのである。

このように考えると、学校で体育を指導する意味は、体力の向上が目的ではなく、運動を好きにさせることが目的である。

手書きのメモ: 体力はこれまで教師の善悪で子供達に運動を課していたのだから

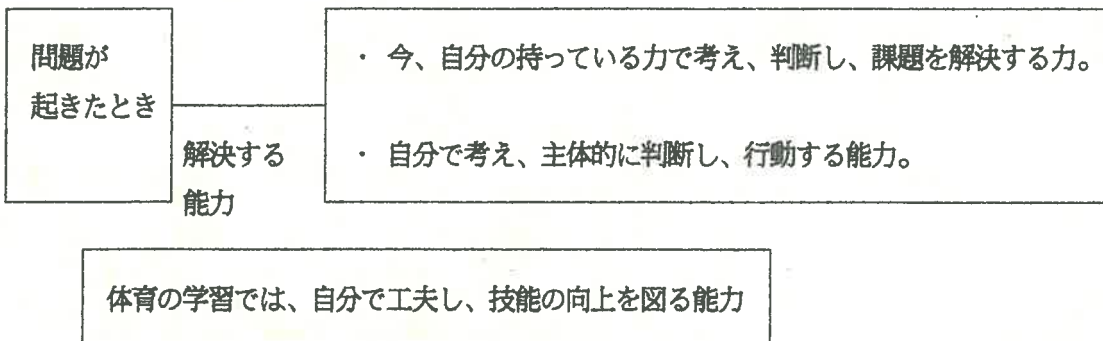
2. 新しい学力観

豊かな創造性

学力とは何を指すのか。

これまでの考え方だと、「学力」とは知識の量と質である。

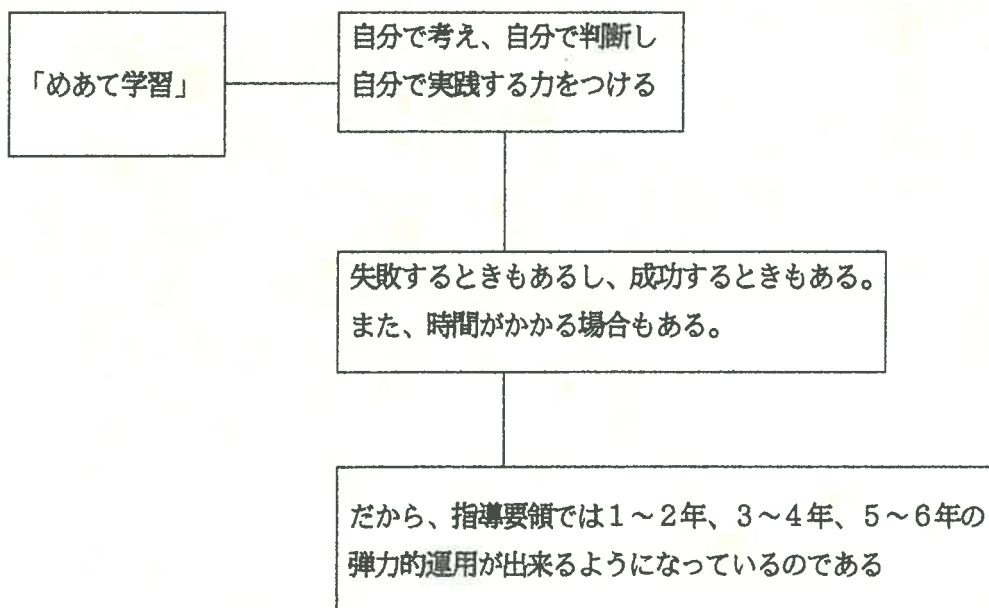
しかし、新しい学力観における「学力」とは



3. 個を生かす

個に応ずるということは、子供の「めあて学習」である。

「めあて学習」とは、子供一人一人が、今持っている力でその運動を楽しみ、その学習を元に創意・工夫・努力を加えて楽しさを求める学習である。



人には得手、不得手がある。そこで、今までの体育教育は不得手を伸ばす教育であったが、新しい学力観は、得手を伸ばす教育である。あれも、これも学校でやっていたのでは生涯スポーツにつながらない。そこで取り入れられたのが、中学校における選択制の考えである